

たんちやう

第74号

59年 4月発行

編集発行

釧路地方腎友会

釧路市新富町一番七号

林田クリニック内



道東の入学式

目次

1P 『健保改正に思う』

2P 『腎友会は何をするところ』

3P //

4P //

5P 腎友会の会費は高いか

6P 『愛犬物語』

7P 『子供の腎移植成功を願う』

8P 市立便り ● 総会開催のお知らせ

9P 会員の動向 ● 編集後記



健保改正に思う

創腎会々長 上田 弘

一昨年老人保健法が施行された時に『次は透析患者』と言われていました。それから1年も経過しないうちに、我々透析患者はその直撃を受ける事になりました。

第二臨調の答申を受けた政府は、昨年8月に『今後の医療政策』として、4つの視点と5つの指針を発表しております。

この指針の中味を要約すると、①受益者負担の導入、②健康管理と疾病の自己責任化、③社会保障は『自己努力』と『連帯による相互扶助』とする、④国の経済的負担能力の低下、⑤医療の効率化、⑥医療標準の設定による限定された医療供給と医療内容の国家統制及び自由診療の拡大・・・という事にまとめられ、我々患者個人に大きな負担をひいる事になっている。私共はこれらの中に、①病気が慢性化が主体なのに治療の根本的な早期発見・治療対策の考慮がない、②健康意識が高揚している反面、不安も増大している、③医療コストが高くなっていると言うが、決して高くはなっていない・・・等々、まだ多くの問題点をはらんでいると指摘しなければなりません。

この事が現実に現われているのが今回の健保改正であり、被用者保険本人の給付率8割を頂点とした、①退職者医療制度の創設、②国保に対する国庫補助の削減、③被用者保険本人の給付切下げ、④入院給食費の自己負担⑤ビタミン剤・カゼ薬・健胃剤・スツブ剤の保険適用除外、⑥高額所得者の保険除外、⑦高額医療費助成限度額の引き上げ・・・

などの改正が考えられていました。しかし④⑤の入院給食費と薬剤については、我々腎友会並びに各患者団体が強い反対行動を展開した結果、何とか中止させる事が出来ました

が、その他については、③の健保本人の8割給付を当面9割給付とする事として、予定どおり実施される事になりました。

しかし我々に対する攻撃が今回で終るか・・・というとは決してそうではありません。

次に考えられている事に、一つは医療費の現金償還払いの導入であり、二つには大学病院における高額な治験的治療の制限であり、三つには医療標準の設定・・・などの改正も目論んでおります。

これらの実施については、現行政府の中において、老人保健法の強引な施行を見ても明らかであると思えます。

この種の改悪案は、単に健康保険だけではなく、その他の色々な社会保障福祉政策(年金・生保等々)についても実行し、福祉総後退をさせようとしております。

そこで透析患者の皆さん・・・

この様な事を皆様は許す事が出来るのでしょうか・・・？

透析患者一個人の力で頑張ってみても、どうにもならない事があるのではないですか・

人的・方法的に種々分らない一個人では何の具体的行動も起せないのではないのでしょうか・・・？

しかし、現在の私共透析患者には『腎友会』という立派な患者組織を持つております。一人の力は小さいが、多勢が集まる事により大きな力となります。透析患者全員がその団結する事により、より良い意見も出て、大きな力となり、各種場面に精通した中央の役員・協力者などの力を借りて、それなりの要求と行動を展開し、私共会員の切実なる実情を『もの申す』機会が出来るのです。上部役員にしても、数多い会員の後押しがあればこそ、真味になつて交渉に当れるのではないのでしょうか。

我々弱者がこれ以上苦しめられないためにも私共透析患者は一人残らず『腎友会』に入会し、他の難病患者さんとも協力しながら、現行福祉制度の前進は望めないまでも、後退は絶対にさせないように、会員全員が協力し合い頑張らなければと考えます。

みなさんに呼びかけます

患者会（腎友会）は 何をするとところ？

「患者会とは何をするとところだろう」とか「患者会に入って何かいいことがあるの」とか、はては「会に入っても病気が治るわけではないし」という声がよくきかれます。

患者会には3つの役割がある。

- 1 病気を科学的にとらえること
 - 2 病気と闘う気概をもつこと
 - 3 病気を克服する条件をつくり出すこと
- 以上の3点は、現代医療の課題でもある。

1 病気を正しく知ろう

多くの患者に会っていて、自分の病気の名前も正しく知らない、薬も何を飲んでいるのか分からないという人がいます。

先生が忙しくて詳しく話を聞くことができない、とか、中には『医者でもないのにそんなことを知ってどうするのか』と、しかられたという人さえいます。

いくら『大船に乗ったつもりで、船長にまかせろ』といわれても、この船はどんな船なのか、どこへ行こうとしているのかを知らなければ、いたずらに心配したり、悲観したり船からおりようとしたりするということになります。

まず、自分の体をよく知ることが大切であります。そして、病気の性質を理解しなければなりません。薬も何という薬か、何んのためのものか、どういう副作用があるか、を知ることが大切です。

そこで、自分は現在は何をしたらよいのか、安静にするのか、働いてもよいのか、外出はよいのか、日光にあたってはいけないのか、を知ります。いたずらに不安ばかりを感じたり、悲観してはいけません。

病気をよく知ると、現在のことばかりでなく、将来何ができるのか、あるいは、自分に残された可能なことは何かを知ることができます。

治療の内容を理解すると、今の状態は、落

ちついているのか、進行しているのか、快方に向っているのか分るようになります。

しかし、けっして主観的に判断してはいけません。

薬についても同じで、その役割をよく知らないと、勝手に量をふやしたり、副作用が出たといってあわてて中止して、かえって失敗するということがよくあります。

自分の病気をよく知り、治療の方向を確めて、そして医師の協力を得て病気を治していくという考え方が必要です。

患者会はそのために、医療講演会や相談会を開いたり、機関誌などで知らせたり、患者会のあつまりで、会員同志の情報交換や経験の交流をしたりするのです。





みなさんに呼びかけます

2 病気に負けないように

病気のことをよく知ったり、治療についてよく分っていても病気に立ち向う、という勇氣や病氣と一語に生活しているという広い心を持っていなければ、病気に負けてしまいます。

多くの患者会は、新聞やテレビで報道される同病者の自殺や一家心中という不幸な事件をきっかけに、これではいけない、仲間同志励まし合おう、として結成されてきました。

一生治らない、とか、大変重い病氣、とか珍しい病氣だ、といわれたときの気持は、私達みんなが経験しています。

将来も希望も失ったような気持になって、家族共々暗くふさぎこみがちになります。

症状の重い時は、介護に、お金にと、家族の負担も重く、また少しは快方に向っても、入院もできず、働くこともできず、友人もいなくなり、いつ治るあてもなく一人で考える時間ばかりたくさんある、ということになります。

こんな時は、けっして良いことを考えつかないものです。私達の会は、こんな時に、声をかけ、励まし合ったり、気持をひきしめたり、解放したりする仲間となります。

会報での出合い、集会での話し合い、レクリエーションや文通、などがあります。



テレビや新聞で社会の人たちに理解を訴えたり、あの人は役員になって、頑張っているな、と思ってもらったりしています。

けっして『自分だけが不幸だ』とか、あの人は症状が軽いから、と思っではいけません。

自分も、あの人のようによくすることができ、『自分も少しでも頑張ろう』という気持になることが大切です。

『腎友会の人みんな明るくて、びっくする』。どこが病氣なの、とよくいわれます。そうです。体は病氣でも心まで病氣になってはいけません。それに第一、今の世の中で、心身ともに、全く健康だという人の方が少ないのです。

何か一つくらい病氣を持っている方が、人の心の暖さがよく分る、というものです。

3 本当の福祉社会をつくるために

踏まれた痛さは、踏んでいる人には分からないといえます。

本当に医療が必要になって医療のありがたさが分ります。

福祉の援助が必要になってはじめて、その必要が分ると同時に、なんと私達難病患者はこんなにも多くの困難があり、その解決の方法をこの社会は持っていないのか、ということが分ります。

私達が自分の病氣を正しく知って、そして病氣にまけないぞ、という気持をもって、今の日本では大きな壁が、いくつもいくつも目の前に立ちはだかっています。

今度はその壁をなんとかとりのそかなければなりません。

私たちは急いでいます。そして一人ひとり、ほとんど何の力も持っていません。金だってありません。そこで私達は、集まってこの壁のあることを、多くの国民に知ってもらい、一語にとり除くことをよびかけなければなりません。



みなさんに呼びかけます

その時に、私達の経験を具体的に知らせるのか、一番よく理解をしてもらえる方法であります。

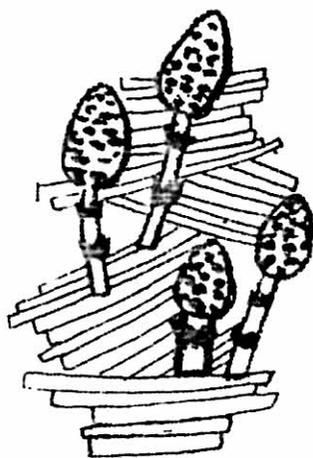
自分が経験しなければ、医療費のことも、通院の大変さも、職業や学校のことも、楽かないことも、年金や身障手帳をもらえないことも、生活保護のムジエンのことも分ってもらえません。

国民全部に経験しろ、ということは無理です。そして、他人が同じ状況で苦しむようになったとき『それみたことか』では、人間の社会は発展しません。

私達は、私達の経験を土台として、二度と同じ苦しみを味わう人が出ないように願って活動しなければなりません。

それが患者の果す社会的役割だと思えます。

やがて、私達の活動の一つ一つによって社会が少しずつ変わっていったとしたら、私達は病気を通して、あるいは難病患者であるからこそ、この社会に貢献することができた、と思える日が来るに違いありません。



4 会費を納めるだけでも立派な活動

会に入っても何もできないから、とって人會を断る人がいます。今病気に苦しんでいる人ですから、何もできなくて当然です。

しかし、どのような人にもできる活動があります。

それは、『会費を納めること』です。

これは税金でも、義務でもありません。たれでも、どんなに重症な人にもできる活動です。

三つの役割を果たす会でも、会費がなければ活動できません。皆様の会費によって会は活動できるのです。

それに、会費の集まらない会では、せっかく一生懸命にやっている役員の人たちも、元気をなくしてしまいます。

役員の人達も、同じ病気の患者や家族なのです。他の人達と少しも変わったところはないのです。特別に恵まれた条件の人などは、長い間活動していますが一人もいませんでした。

むしろ、『こんなに条件が悪い中で』と、びっくりするくらいです。

その役員の人達を励まし支えるのは、会員の方々からきちんと会費が納められていること、そしてつけ加えるのであれば、苦勞して出した会報が読まれていること。たまには手紙がきたり、会報へのせる原稿が届くことです。

報酬も何ももらわないで活動している役員にとっては、何にもかえられないうれしいことなのです。





みなさんに呼びかけます。

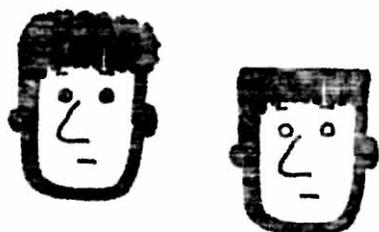
5 会に入つて利益があるか・という人へ

会に入つてもお金はもうけられません。出す一方です。

会に入つても病気はすぐに治るわけではありません。むしろ、役員にでもなつたら、本当にシンドイことです。でも、この間に対する答えは、もう一度この稿を、はじめからお読み下されば分ります。

その答えを見つけることができたなら、あなたは、もう一人前の患者です。

会員の方々の一層の御理解と未加入の方々の入会を心からお待ち申し上げます。



腎友会の会費は高いか

釧路地方腎友会は、月600円(年間7200円一括払いを原則)を会費として納めていただいております。

内訳は、全腎協に100円、道腎協に100円、釧腎会に400円となつております。

会員一人分の会費は、一年分であつても役員の方道腎協へ(札幌)出席の交通費一人分にも満たないものですが、会員が大勢となり、会費が順調に納められると、大きな力となつて役員の方の交通費どころか広報活動等、色々な活動を起すことができます。

昨年暮、59年度国家予算編成会議において、厚生省の予算中、医療費の個人負担2割を、世論の影響で今年は1割、60年度から2割と決定しました。

活動を起さずそのままにしておくと、月最低で65000円の負担(参考までに一回の透析料最低で約5万円)をしなければなりません。

我々の代表は、私達の死活問題であることから、昨年皆様に協力願つた請願書をたずさえ(皆様に反対のハガキも出して頂きました)地方選出議員、各会派等、担当次官、厚生大臣に事情を説明するなど、何らかの方法で個人負担をしないで済むよう再三再四、昼夜を問わず努力を続けております。

その努力の結果が、個人負担ゼロに連つたとしたら、あなたの納めた会費は高いでしょうか。ゼロが決定した時、その恩恵は会に入つている者、入っていない者、平等に受けられます。入会していない人はどう受け止めるでしょうか。

寝たきりの方でも入会、会費の納入等、家族の協力を得て腎友会に協力する事ができます。

健康な方でも、それぞれの健康状態・勤務・家庭の条件によつて協力できる事柄は違ふと思ひます。無理な事を望んでいるのではありません。

ですから腎友会では、会費の納入に当り、困難と認められる方には分割・減額等の道を開いております。各病院の代表幹事、事務局では、いつでも相談に応じております。

この原稿が皆様の手に渡る頃は、健保について何等かの答が出るのでは、と思ひますが国会の審議(テレビ・新聞等)、腎友会ニュース等に関心をもつて見守つて下さい。

血圧低下の性か、体が疲れてきました。この辺でペンを置きますが、皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

釧路地方腎友会 事務局長
早坂 要



『変犬物語』

釧路市立病院 横 沢 俊 彦

2人の男が犬に近づいて、なにか食べさせた。犬は2~3回クルクル廻るとバツタリ倒れた。『アツ毒だ』、どうしよう、頭がボーとなる。遠い遠い昔の思い出、昭和7年頃の事。これが一代目『ジョン』の末路である。

二代目ジョンはスラットした、なかなかの美犬である。いつ頃から家族の一員になつたのか、さだかでないが、昭和12年頃であろう。

14年、父の転勤で白糠より釧路に移る。ジョンはトラックに乗せられ、車酔いかフラフラしていた。この犬に芸を仕込んだ記憶はない、おとなしい性格であつた。犬の放し飼いが、今ほどうるさくなく、家が今の日赤の近くで、周りは畑で家は点々とあつただけの時代である。ジョンは自由に飛び廻つていた。今の犬はクサリで四六時中つながれているので可愛そう。

家続きの物置があり、その内に犬小屋がある。夜ねる時は外で生理的用をさせてから裏戸を閉めるのだ。

ある冬の朝、外は真白な銀世界だつた。裏口より外に出ると『カチツ』とぶつかつたものがある。雪の中より出て来たのは『カチカチ』のジョンであつた。戸締りが早かつた。なぜ確かめなかつたのか、泣かなかつたのか、それとも私がグツスリ寝ていて気付かなかつたのか、寒かつたろう。『ブルブル』ふるえながら死んだのか、不注意な私をゆるしてくれ。これが二代目ジョンの末路である。

それから犬とは縁が切れていた。41年、雄別炭礦の時代、妻が知人より小犬をもらつて来た。雑種である。娘達は『ピース』、平和を略して『ビス』と名付けた。白に黒が一寸まざり、耳は立ち、尾は巻いている。今迄の犬で一番の美犬だ。この犬には娘達が色々芸を仕込んだ。『お手』・『おカワリ』・『おアツケ』などである。おかしかつたのは『おアツケ』と言つてだまつていると『ヨダレ』をタラタラ落して首をかしげ、こちらの顔を見るのだ。

夜勤の時、15分程の職場について来る。朝、家の近くまで帰つて遠くから『ビス』と呼ぶと丸くなつて飛んで来て、体をすりつけてくる可愛いものだ。

昭和45年、優良礦の雄別もとうとう閉山となる。全員解雇、求職、引越準備等々多忙な毎日、そして八王子に就職内定となると、内地迄ビスを連れて行けぬ。野放しで飢え死にしても可愛いそう。止むなく保健所に連れて行つた。どの様に仕末されたのか、『トボトボ』と後をふりかえりながら引かれて行つた姿が目につく。可愛い犬だつた。これが三代目の犬の末路である。

見知らぬ土地への不安と、暑さに弱い私はとうとう釧路に住みついた。これならビスを仕末するのでなかつた。犬を見るとビスを想い出す。

そして、11年たち56年1月職場で倒れ3ヶ月の入院、自宅療養。57年2月再び倒れ3月3日ついに透析に入る。それから1年半、朝の散歩の相棒にと、娘が小犬を貰つて来る。家族で相談の上『チロ』と命名する。この犬は美犬とは言えない、雑種で耳はたれて太めで芸を仕込んでもおぼえが悪い。しかし目が可愛い。透析から帰ると喜こんで飛びついて来る。良し良し淋しかつたか、遊び相手が無かつたか、良し良し。だが大きくなつたものだ。昨年10月に貰つて来た時は2K程だつたが、今は10Kだ。『さあ、おまえも運動をしなくては、これこれ、あまり引つばるな、御主人様は腰が痛いのだ』。

『駄犬よ、おまえは可愛いやつだ、三代目迄の様な末路でなく、天寿を全うしてくれ。そしていつまでも仲良くしような』『チロ』



「 子供のジン移植成功を願う 」

広瀬正宗さんよりお便り

拝啓。 寒さ厳しい今日このごろ、皆様方におかれましては益々御健勝の事と思ひます。

愛息、正誉入院時には皆様方には色々と御配慮いただき本当にありがとうございました。

御蔭様にて正誉の生涯治療とも言えるシャント手術も2回目ようやく成功致しました。

(右うでに) 入院時、尿素窒素値2/0あったものが80に、クレアチニン8が3.5となり、最悪の状態を抜け出しましたが、本人には大変な苦痛のようです。 慢性ジン不全の状態で血液透析療法が導入される場合には必ず移植を前提とすると言うことが、小児においては必須条件とのことです。

先日(2月/5日) 4才児が4日間にて死亡(移植後)したのを見ましたが、小児の場合、確率が悪いのですが移植をしないよりはましですね。 近い将来の移植を夢見、親子共々ガンバル所存です。

ジン友会は絶対に大切ですね。ジン臓病で悩んでいる子供さんが多く居ることも事実ですし、悲しくも未来が少ないのです。 その子を持つ親は皆様と同じ病気以上に苦しみますよ。 ジン友会の皆様にも一日も早く明るい日が来ますように。。。。。。終

◎私達ジン友会の仲間です。 成功を祈って、広瀬御夫妻にがんばって載くように お便りを出しましょう。

あて先

埼玉県所沢市

広瀬正誉(移植の本人9才)又は広瀬夫妻まで。



釧路市立病院リポート

木村 俊

『今日のシラルトロ湖は無数の白鳥が飛来し、とてもきれいだ』と云う。

『周囲の真白な冬景色、真青な空と氷のとけた一部の湖、まるでボエムの世界だ』標茶から朝早く車を飛ばして透析に来る斎藤正雄さんは『四季』をいつも一語に持って来る。

もう少し前の事ではあるが、チカ釣りの時期の面白い話も透析中の私達を湧かせたものでした。ある人がチカ釣りを楽しむべく湖に行った。場所代7百円を支払い、酷寒の中を待つ事一日、その日の収穫は何んと『チカ3匹』と云う成績で5人家族でどの様にして分けようかと考えた由・・・。

思わず笑ってしまいました。湖へ行くまでにはガソリン代もかかるでしょうに、当時、店で買い求めれば3百円位で30匹はあった時期である。道楽とはかくもお金と時間のかかるものですね、皆さん・・・。



総会開催のお知らせ

釧路地方腎友会の定例総会を下記の通り開催します。万障お繰り合せの上御出席下さい。

- 1 日時 5月20日(日曜日)10時
- 2 場所 国鉄ぬさまい荘(駐車場あり)
- 3 その他
 - (1) 通院交通費支給します(釧路市内の該当者のみ)

支給時刻12時30分より15時30分までの予定
 - (2) 昼食は参加者全員に支給。準備の都合上、出欠の調べをします。
 - (3) 総会の資料を、総会前できるだけ早くお届けします。資料を良く見て検討し、質問事項をメモする等、総会が順調に進むよう御協力下さい。
 - (4) 総会出席者に交通費支給(釧路市・釧路町以外から総会に出席する方には、交通費実費を支給します(昨年より))
 - (5) 役員及び幹事さんへ

総会当日は9時30分までに会場へお出下さい。
 - (6) 当日は釧腎会新年度分の会費も受付します。御協力下さい。

会員の動向

◎新規患者

・宇井美江・協立病院

釧路市

・児玉茂子

標茶町

・大滝キク

釧路市

・浜出政之

根室市宝町

・宮下千里

標茶町

◎変更事項

- ・石田 潤・会員となる
- ・原 保・三笠より戻り会員となる
- ・野中久子・58年9月22日死亡
- ・宇井美江・2月より会員となる
- ・小熊裕子・2月より会員となる
- ・大友元次・電話53-1035になる



編集後記

いよいよ春四月です。吹く風にも暖かさが感じられて来ました。けれども先月の記録的な大雪の後仕末でまだ々々大変な今日この頃です。私達透析患者には生死に関わる通院手段の確保に悩んだ方々も大勢いらした事と存じます。遅ればせながら大雪御見舞い申し上げます。道東地方の春は本当に間違いなく来ています。もう少しですががんばりましょう。

さて、今号は釧腎会恒例の総会を5月20日に控えて、もう一度初心に戻って『腎友って何だろう』、『なぜ私たちは会を作ってるんだろう』等について特集してみました。

日頃、いそがしさに紛れてゆっくり考えてみる事がなかった。わかってはいるんだけど、まとめて考えてみるのがちょっと出来なかった。その他私達透析患者が基本的に『生存して行く為の相互協力』についての考え方を、釧腎会事務局長、早坂さんがわかりやすくまとめて下さいました。新年度のスタートにあたって会員の皆さん、『腎友会』について考えてみて下さい。

もう一つ、ご覧の通り、表紙の裏ページに『シャント』と言う、『釧腎会役員』から皆さんにあててのメッセージを載せる『肩のこらないお話』又は『今の透析患者会の動き』など毎号のシリーズをスタートさせました。御期待下さい。

先号より市立の近藤さんが編集部員として加入して下さいました。私達編集部一同今年度はどうなるのか総会の結論を待つところですが、とにかく会員の皆さんの『たんちょう』に対する興味と御投稿がなければ成り立って行きません。皆さんの日頃の生活から出てくる御意見や考え方、思いつき、感動した事など、又、詩や俳句など走り書き、メモ、書式は二の次、まづ出稿してみてください。

『たんちょう』みんなで作って行こうではありませんか。。。。。